

子ども・若者貧困研究センター主催公開シンポジウム

「子どもの貧困と『食』格差：政策は何ができるか」を 開催します

首都大学東京 子ども・若者貧困研究センター（センター長：阿部彩 首都大学東京都市教養学部人文・社会系教授）は、12月14日（水）、日比谷コンベンションホールにおいて、公開シンポジウム「子どもの貧困と『食』格差：政策は何ができるか」を開催します。本シンポジウムは「日本における貧困に関する研究フロンティア『学術分野の融合』『貧困学を立ち上げる』公開シンポジウム・シリーズ」の第一弾として行われるものです。

日本の子どもの貧困は、危機的な状況にあると言えます、子どもの「食」が脅かされていることは、近年、マスコミの注目を浴びている「子ども食堂」などの取組からも明らかです。しかし、子どもの「食」格差がどれほど広まっているかは、これまで明らかにされてきませんでした。

今年、日本の子どもの「食」格差の現状が、栄養学の研究者らの研究によって示されました。また、厚生労働省の「乳幼児栄養調査」からも乳幼児の栄養格差が明らかになりました。この状況は、もはや、一握りの NPO の活動によって解消できるものではありません。このような実態を受けて、国や自治体はどのような政策をとるべきか。学校給食、食の保障、そして、所得保障。それらを実現するには何が必要か。皆さんと共に、考えていきたいと思えます。

シンポジウムの詳細や参加申込みについては、以下の HP をご確認ください。

<http://www.tmu-beyond.tokyo/child-and-adolescent-poverty/>

【開催概要】

- 日 時： 平成 28 年 12 月 14 日（水） 13：30～16：30（開場 13：15）
- 場 所： 日比谷コンベンションホール 大ホール
（東京都千代田区日比谷公園 1-4 日比谷図書文化館 B1F）
- 参加費： 無料（約 200 名、事前申込み制 ※上記 URL の申込みフォームにてお申込みください。）
- 主 催： 首都大学東京 子ども・若者貧困研究センター

【シンポジウムプログラム】

第 1 部：基調講演

1. 「子どもの栄養格差：4 自治体調査から」
村山伸子（新潟県立大学 人間生活学部健康栄養学科 教授）
2. 「乳幼児栄養調査：社会経済的要因からの分析」
日名子まき（厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課 栄養専門官）
3. 「子どもの体格と社会経済要因」
可知悠子（日本医科大学 衛生学公衆衛生学 助教）

第 2 部：パネル・ディスカッション

「子どもの「食」格差について、政策は何ができるか」

- ディスカッサント：村山伸子（新潟県立大学 人間生活学部健康栄養学科 教授）
日名子まき（厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課 栄養専門官）
可知悠子（日本医科大学 衛生学公衆衛生学 助教）
八田和嗣（文部科学省初等中等教育局 健康教育・食育課 企画官）
- コーディネーター：阿部彩（首都大学東京 都市教養学部人文・社会系 教授）

■公開シンポジウム「子どもの貧困と『食』格差：政策は何ができるか」（取材案内）

取材いただける場合は、首都大学東京 子ども・若者貧困研究センターHP の申込みフォームより、事前のご登録をお願いいたします。

◎首都大学東京 子ども・若者貧困研究センターHP

<http://www.tmu-beyond.tokyo/child-and-adolescent-poverty/>

■会場マップ



- 東京メトロ 丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」 B2 出口より徒歩約 3 分
- 都営地下鉄 三田線「内幸町駅」 A7 出口より徒歩約 3 分
- 東京メトロ 千代田線「霞ヶ関駅」 C4 出口より徒歩約 3 分
- JR「新橋駅」 日比谷口より 徒歩約 10 分

【問合せ先、取材申込先】

阿部彩研究室（首都大学東京 都市教養学部人文・社会系社会学コース 社会福祉教室）

Tel : 042-677-2126（直通）

E-mail : abeken@tmu.ac.jp